

【 競技及び審判上の注意 】

- (1) 本大会は、本年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程同公認審判員規程に準じて行なわれる。
- (2) 本部の指示があるまではコート内での練習は認めない。
- (3) 試合がコールされてから3分間以内にコートへ入らない場合は棄権と見なす。
- (4) ゲーム中どちらかのサイドが11ポイントに達したら60秒、各ゲーム間に120秒を超えないインターバルを認める。また、インターバル時に指定区域内で、監督など大会登録者からアドバイスをうけることができる。但し、人数は2名までとする。
- (5) 試合中のけがや病気の手当や処置について、コートに入ることを許されるのは、必要と認められる医療補助員と競技役員長（レフェリー）及び競技審判部長だけである。
- (6) 審判は担当校を本部が指示するので、指定された人数を出す。
- (7) ・主審は特にサーバー及びレシーバーにおける「フォルト」について注意し、フォルトの場合には速やかにコールすること。また、競技規則に係る訴えに限り、主審が判断できないものは、競技役員長（レフェリー）に確認する。サーブについては打たれる瞬間にシャトル全体がコート面より1, 15M以下でなければならない。
・サービスジャッジについては、競技役員長（レフェリー）がベスト8以上のすべての試合で任命する。その他の試合は、必要があると認めた場合に任命することがある。
その他、審判上のことでトラブルが生じたときは、速やかに競技役員長（レフェリー）に報告を行い、その指示に基づいて行動する。
- (8) ラインジャッジはシャトルが「イン」か「アウト」を判定し、「アウト」の場合には、はっきりとコールする。
※センターラインは主審が判定する。
- (9) 応援については、試合の遅延行為に繋がったり、他のコートの試合を妨げるような行為は禁止する。
- (10) 試合中における水分の補給は、ふたができて倒れてもこぼれない容器に限り認める。
- (11) 背中に県名、校名の付いたユニフォームを着用するか、またはゼッケンをつける。
- (12) その他、開始式のときの注意を守る。

【 簡易ゲームについて 】

簡易ゲームを以下の通り行う。

- | | |
|----------|---|
| 1年生シングルス | 全ての試合。 |
| その他の個人戦 | ベスト32以降を正規ルールとし、それまでは簡易ゲームを行う。
但し、当日の試合進行でベスト32以降の簡易ゲームを行う場合もある。 |

※ 簡易ゲーム

- ・15点3ゲーム（2ゲーム先取）
- ・延長ゲームなし
- ・ゲーム間のインターバル60秒
- ・ファイナル時はチェンジエンスあり、チェンジエンス時のインターバルなし

【 学校対抗戦の注意 】

- (1) オーダー用紙は本部より指示があったら、正副2部を速やかに提出すること。
- (2) エントリーメンバー変更は、大会当日の監督会議終了までに所定の様式に従って申請する。
- (3) ベンチに入れる者はメンバー表に提出されている監督・コーチ・マネージャー・選手のみとする。
- (4) 試合順序は、第1複（D1）、第2複（D2）、第1単（S1）、第2単（S2）、第3単（S3）の順で実施する。なお、S1は複を兼ねることはできない。
- (5) 試合はすべて3マッチ先取方式で行う。